

令和7年5月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和7年5月27日（火） 9時25分から10時24分まで

2. 場所

新宮町役場 3階 第2委員会室

3. 出席者

小川教育長、吉松委員、小池委員

4. 欠席者

横山委員、本多委員

5. 出席職員

桐島学校教育課長、井上社会教育課長、三船学校教育課長補佐、船越社会教育課長補佐、秋山社会教育課長補佐、堀川指導主事、高口指導主事

6. 欠席職員

なし

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

(小川教育長)

ただ今から5月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、横山委員と本多委員が欠席されており、出席委員は2名です。

なお、事務局職員は全員出席です。

9時25分開始

○ 日程第2 会議録署名議員の指名について

(小川教育長)

会議録署名議員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は小池委員にお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

(小川教育長)

(資料により、東京都で5月13日に開催された全国町村教育長会の報告及び説明)

① 研究大会・記念講演の概要について

(資料により、5月23日に開催された管内市町教育長会議の報告及び説明)

- ① 教育支援委員会等の委員向け市町動画について
- ② 福岡教育大学「サマーセミナー（若年・中堅教員向け／管理職等向け）」の開催について

（資料により、新聞記事の説明）

（小川教育長）

質問等はありませんか。

（吉松委員）

新宮町の教育とウェルビーイングの資料から「学級をよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決める」という項目の結果が素晴らしいなと思って拝見させていただきました。

小学校も良かったですが、中学校の全国比22.3ポイントプラスというのが、とても大切なところではないかなというふうに思っています。学級をよくするために、互いの意見を出し合って、そしてその解決方法を見つけ出していく、「解」がないことに対して、どうやって導き出せばよいのかというところを、お互いの意見を出し合って解決していくということが、本当に今求められているところではないのかなと思います。このように子ども達が思えるのは、何がそうさせているのかと感じました。学校の授業などの中で話し合いを多用しているとか、その達成感であるとか、何かそういうものが子ども達の中にきっとあるのだろうというふうに想像しますが、どこにプラス要因があると捉えてあるのか、お伺いします。

（小川教育長）

元々、小学校の授業づくりにおいては、お互いの意見を出し合う活動がこれまでも進められてきていたと思うのですが、中学校での活動においては、以前はなかなか難しく、そこまで進められないところがありました。しかし、今回こういったところでポイントが高いということは、一つ言えるのは、学びの共同体学習という形で、それぞれのグループの中で意見を出し合いながら、授業づくりをしていくというところが、新宮中学校と新宮東中学校の取組の中で、このような子ども同士の意見の出し合い、これは授業に限らず、色んな課題が出たときに話し合い活動の中でお互いを理解しながらやっていくというところの活動が根付いてきたことによって、このような高いポイントを示したのではないかと考えています。

やはり本町において根付いている部分は人権教育で、その人権教育に係る町としての取組が根底にあるためであると考えていますし、このような子ども達の意識の高さを活用しながら授業づくりを今後も学校において進めてもらいたいと思っています。

（高口指導主事）

中学校は、教育長が申したとおり、学びの共同体学習を継続して取り組んできているために高い結果が出たのだと思っています。そして、小学校において、そのベースがしっかりと作られているものと思っています。

小学校の子ども達の特徴として、厳しい指導に対して非常に耐性が弱いというところがあって、以前、取り組んでいたこととしては、色んな行事を行う際に、子ども達一人ひとりに頑張ることの目標を立てさせていました。しかし、なかなかその目標を達成できない子や、頑張り過ぎて途中であきらめてしまう子ども達が多くいました。

そこで、学級みんなで目標を達成させることに取り組みました。色んな友達がい
て、得意な子もいれば苦手な子もいるなど、様々な子ども達がい
て、みんなで達成す
るためにはどのような目標を立てて、一人ひとり、苦手な子も含めて全員が満足感
を得られるような取組みは何があるのかをみんなで考えようということで、意見交流を
行い、目標を立て、実行しつつ、その目標を徐々に変えていきながら、最後はやり遂
げたという満足感を味わうことができるというような取組をやってみました。他のど
の学校もおそらくそのような取組を行っていて、小学校から中学校へ送り出して、な
お、中学校において意識が高まった結果、こういう数字になっているのではないかと
思っています。

(吉松委員)

ありがとうございます。本当に素晴らしい取組なので、今後も引き続き、よろしく
お願いいたします。また、不登校のため、なかなか自分の考えが反映できない子ども
達もいるのではないかと思いますので、そのような子どもたちの考えも引き上げられ
るような取組も併せてお願いしたいと思います。

○ 日程第 4 諸報告

1) 学校教育課の報告について

(桐島学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 令和 7 年度の工事等について
(詳細は、三船学校教育課課長補佐が説明)

② 連絡事項

- ・ 学校訪問について
(詳細は、高口指導主事が説明)
- ・ 九州地区市町村教育委員会研修大会について
(詳細は、三船学校教育課長補佐が説明)

③ その他

- ・ 特になし

(小川教育長)

質問等はありませんか。

(吉松委員)

この頃、子ども達の登下校時の列に車が突っ込んで重傷を負うなどの痛ましい事故
を伝えるニュースを多く目にします。

それを受けて、安全点検といいますが、危険箇所などを再度見直すなどの対応が
必要ではないかと思いますが、新宮町ではどのような対応をされているのでしょうか。

(三船学校教育課長補佐)

最近の事故を受けての緊急点検などということはありませんが、本町では毎年
5月の定例校長・園長会において、各小・中学校の校長へ、PTAと連携して各学校

の通学路の安全点検を実施し、調書にまとめて夏休み明けに提出してもらうよう依頼しています。

そして、その調書を基に、9月以降に町道等の管理を所管する都市整備課と協議し、町全体としてまとめます。その後、11月頃に粕屋警察署と福岡県土整備事務所、町からは都市整備課と、地域協働課の防犯専門官など、関係者を集めて通学路安全推進会議という会議を開き、全ての学校から出された危険個所について確認し、また、現地を確認する必要がある個所も10から15箇所程度抽出し、実際に現地に出向いて合同点検を実施しています。現地調査の後は、今後、どのような対策を講じることができるのかを検討・協議しています。

その結果を受けて、当該年度の予算で対応できるものは即時実施し、予算的に厳しいものについては、次年度以降に対応するための予算を計上することになっています。

そのように、本町の通学路安全プログラムに基づいた一連の工程を継続的に実施しながら計画的に通学路の危険個所の改善に努めています。

2) 社会教育課の報告について

(井上社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 新体育館建設基本構想等策定業務の公募型プロポーザルについて

② 協議事項

- ・ 特になし

③ その他

- ・ 第50回社会教育関係団体等指導者研修会について
- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定
- ・ 令和7年度新宮子ども司書養成講座受講生募集のお知らせについて

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

○ 日程第5 その他

1) 教育委員会定例会の日程について

(桐島学校教育課長) (日程確認)

- ・ 6月定例会
令和7年6月27日(金) 9時30分から (確定)
- ・ 7月定例会
令和7年7月25日(金) 9時30分から (予定)

○ 日程第6 閉会の宣告

(小川教育長) 以上で5月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時24分終了

署名 教育長 小 川 隆 弘

署名 委 員 小 池 努
